



安中市役所本庁舎

建設基本構想策定

市民の命を守る

「危機管理対応型庁舎」へ

市では、平成18年度の旧庁舎・中庁舎の耐震診断結果をもとに、庁舎整備の方向性について、庁内事前準備組織、安中市庁舎に関わる市民懇談会、市議会などにおいて検討を行い、市民アンケート調査を実施し、建設基本構想を策定しました。

●耐震診断結果

旧庁舎・耐震性能は非常に低く、大規模な改修が必要(Dランク)
中庁舎・耐震性能は低く、補強が必要(Cランク)

現在の旧庁舎および中庁舎は、耐震診断の結果では、大地震が来たときには機能しなくなる可能性が高く、改修での対応が難しい状況です。

●市民の声や提言、議会の要望

市民アンケート調査の結果では、旧庁舎・中庁舎は耐震補強ではなく、建て替えるのが良いとする回答が圧倒的多数(94%)であり、安中市庁舎に関わる市民懇談会からの提言書および安中市議会からの要望書においても、建替えを求めています。

さらに、新しい庁舎が防災拠点の機能を有すること、また、将来の財政負担が軽減されるよう建設費を抑えることを求めています。

●現本庁舎と

松井田庁舎の利活用

松井田庁舎は、支所機能とあわせ、安中市役所・防災拠点センター(仮称)の重要なバックアップ機能施設として備え、リスク分散を図ることにします。また、中山道・松井田城址(跡)・碓氷製糸(株)・信越本線駅に近く、これら歴史・文化・産業・交通面での遺産の継承、まちの活性化などへの活用も検討していきます。

現在の本庁舎は、今後、東側に接して西毛広域幹線道路が整備され、交通量が増える予想されており、人が集まれる多目的な交流場所としての利活用も考えられます。具体的な活用方法などは、改めて市民の皆さんの意見を聞きながら検討を進めていきます。